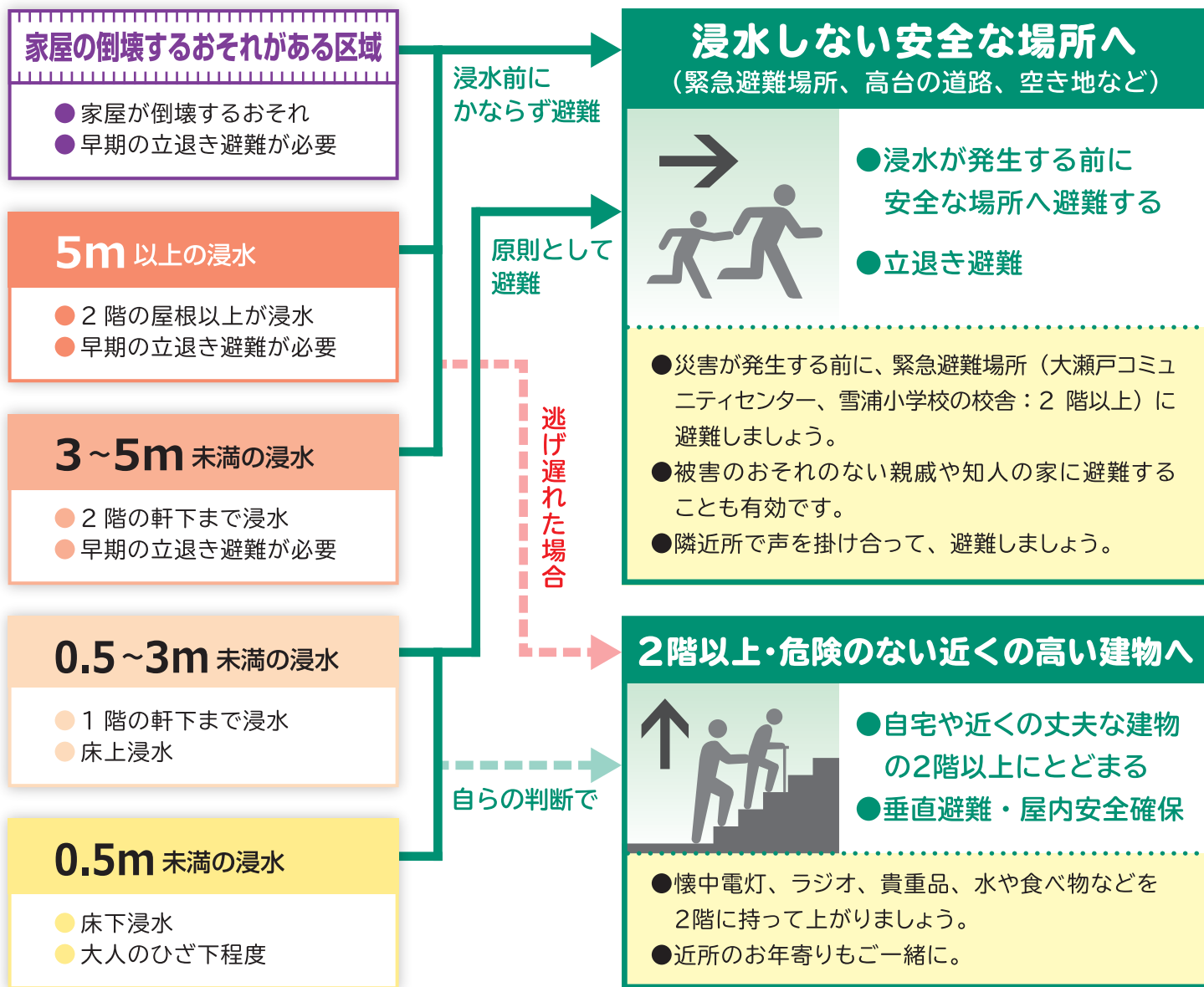


どこに
避難するの？

浸水前の「立退き避難」が基本！

洪水時の避難は、浸水が発生する前に、緊急避難場所などに避難する「立退き避難」が基本です。河川の堤防が決壊して、ひとたび浸水が始まると、濁流となって川から水があふれ出るため、成人男性であっても水深50cm(ひざの高さ)を超えると歩行が困難になります。逃げ遅れた場合や夜間など、屋外に避難するとかえって危険な場合には、近くの丈夫な建物や自宅の2階以上などに「垂直避難」することも有効とされています。

ただし、雪浦川は、ほとんどの区域が「家屋の倒壊するおそれがある区域」になっているため、氾濫した水の勢いで家屋が流されるおそれがあります。いのちを守るために、早めの「立退き避難」が必要です。



家屋の倒壊するおそれがある区域とは…

水の流れによって木造の建物が倒壊したり、地面が削られて全ての建物が倒壊するおそれのある区域のことを言います。雪浦川のような谷底平野では、平地の面積が小さいため、河川からあふれた水は、浸水深および流速も大きくなり、家屋が倒壊するほどの大きなエネルギーが発生します。



安全に避難するためのポイント

●動きやすい恰好で

リュックサック、ヘッドライトがあれば、両手が空くので便利です。丈夫な運動靴を履きましょう。



●冠水した道路は危険

蓋の外れたマンホールや側溝などが見えなくなり、転落のおそれがあります。



●お年寄りも一緒に

近所のお年寄り、身体の不自由な方、乳幼児など、災害時に援護を必要とする方に協力をお願いします。



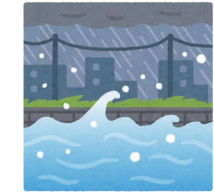
●明るいうちに避難

夜暗くなってからの避難は危険です。夜に大雨が予想されているときは、夕方までに避難しましょう。



●川や用水路の様子を見に行かない

非常に危険です。インターネットで川やダムの水位を確認できます。



●土砂災害にも注意

洪水と同時に発生するおそれがあります。山の近くに住んでいる方は、十分に注意してください。



非常持出品

- ☑ ラジオ
- ☑ 予備の電池
- ☑ ヘルメット
- ☑ 軍手・皮手袋
- ☑ ロープ
- ☑ 飲料水
- ☑ 非常食
- ☑ タオル
- ☑ 通帳・印鑑
- ☑ 健康保険証
- ☑ 現金 など
- ☑ 必要に応じて
- 常備薬
- 救急用品
- 洗面用具
- 粉ミルク、哺乳瓶
- 紙おむつ など

備蓄のポイント

- 非常食の備蓄方法として「ローリングストック法」があります。
- 普段から少し多めにレトルト食品などを買っておき、使った分を新しく買い足すことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。
- 災害時には、ガスや電気、水道が止まることもあるため、「カセットコンロ」と「カセットボンベ」も合わせて用意しておきましょう。

